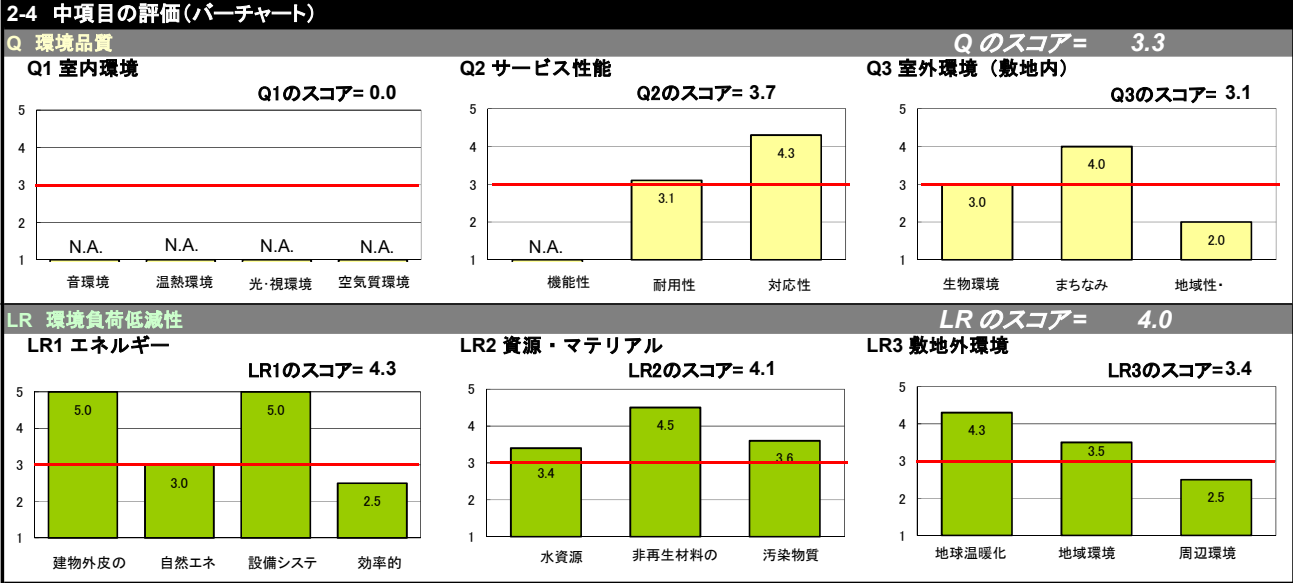
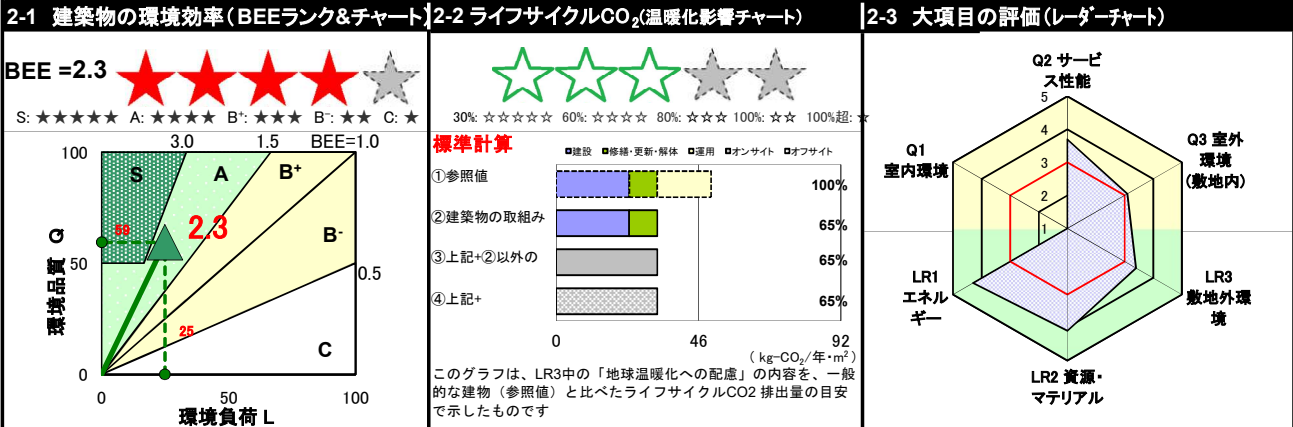


CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版_連絡版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v2.3.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	GLP神戸住吉浜	階数	地上5F
建設地	兵庫県神戸市	構造	SRC造
用途地域	工業専用地域、準防火地域	平均居住人員	300 人
地域区分	6地域	年間使用時間	3,650 時間/年(想定値)
建物用途	工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年2月 予定	評価の実施日	2024年11月13日
敷地面積	21,195 m ²	作成者	株式会社イズミコンサルティング
建築面積	12,716 m ²	確認日	2024年11月13日
延床面積	45,924 m ²	確認者	東亜建設工業株式会社一級建築士事務所 簡井 英雄



3 設計上の配慮事項		
総合		その他
・兵庫県神戸市に新築される倉庫である。 ・高効率な設備機器の導入により環境負荷の低減を図るとともに、ライフサイクルCO ₂ 排出量の低減に努めている。		-
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
・評価対象外	・将来の用途変更の可能性等を考慮し、建物の階高、空間の形状・自由さのゆとりを計画している。	・植栽による景観、視点場からの外観パースによる検討等、良好な景観形成へ配慮した取り組みがある。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
・主要な用途別エネルギー消費の内訳を把握して、消費特性の傾向把握・分析を行い、妥当性の確認が可能である。	・OAフロアの採用によって部材の再利用可能性向上を図り、躯体と仕上材の分離を容易にすることで、解体時におけるリサイクルを促進させる対策がある。	・敷地内に屋外広告照明の設置は避け、周辺の光害抑制を図っている。 ・燃焼設備を設けず、建物からの大気汚染物質発生に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される